

8日(金)は『立冬』でした。いつまでも真夏のような暑さが続いていた毎日でしたが、いつの間にか初雪の知らせが聞かれるこの頃となりました。気がつけば 今年も残すところ ひと月半！ 早いですね。先月のプレイデイには、大勢の方々のご参加 並びにご協力を頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。かつて つのぶえ保育園の“運動会”は、何もない広い草っ原だった“栗山公園”で行っていましたが、天候が悪い場合 各ご家庭の仕事の調整がつかないため延期が出来ず、やむなく中止にしていました。また 公のオープンスペースのため セキュリティが不完全であること、整備不十分な地面は 子どもに不適な環境であることなどの衛生面も含めた課題を考慮し、当時の役員会と職員達とで 検討した結果、天気に左右されることもなく 侵入者等も把握でき、子ども達が思いきり走り回れる安心な場所として、成田小学校の体育館が最適である故 使用したい旨、成田市の理解と承諾を頂き、現在に至っています。

“プレイデイ”と変更してから これまでの間、大雨や激しい風などの日が 数回ほど ありましたが、その度に室内で守られ、何の影響や支障もなく滞りなく開催できることを 皆で感謝し合ってきました。けれども今回、台風の情報が入るにつれ、今までのような訳にはいかない、決行は不可能であることを思い知らされ、直ちに判断を迫られました。大好きな仲間達や家族の方と一緒に楽しみたいと当日をずっと心待ちにしながら一生懸命に取り組んできた子ども達の純粋で真直ぐな笑顔を目の当たりにし、「中止にはしたくありません！ 借りられる場所をどうか与えて下さい！」とひたすら祈り続けました。その切なる祈りと願いに 神様は応えてくださいました。保護者会元会長・現 評議員の河野さんとの絆を祝福し用いてくださり、役員の塚越さん、成田小学校の佐々木教頭先生を始め多くの方々の温かなご理解とご尽力、そして、日程変更について快諾し ご協力を頂きました 皆様方のお心によりまして、2019年度のプレイデイを、無事 開催することが出来ました。改めまして 心より感謝申し上げます。先週末に行ないました役員会にて、今回のプレイデイの反省会を行いましたところ、今後も想定外の悪天候が増える可能性を踏まえ、その対策として、当日の他に“予備日”を設けることを決定しました。様々な詳細につきましては 年度末の保護者会総会に於いて報告させていただきますが、子ども達にとって 安心で安全・楽しく充実した保育園生活を送れますよう、これからも 一同 心を合わせて参りますので ご意見 ご提案等ありましたら ぜひお寄せ頂ければ幸いです。今後共 どうぞよろしくお願い致します。

さて、そのプレイデイ。当日は各クラスとも それぞれに のびのびと その子らしさを発揮していて とても微笑ましかったです。年長組の子ども達も リーダーとして 精一杯 頑張っていて、頼もしく輝いて見えました。今 あの日1日の経験が、皆の心の 確かな自信へと変えられていると感じます。りす組のかくれんぼや、ねこ組のピクニックなど、乳児クラスも 一人ひとりの個性を大切に 担任達が話し合い 工夫を重ねながら 子ども達と一緒に 毎日を過ごしてきた様子が そのまま表れていました。こあら組の大根抜きは “一致団結・協力とは ということ！” を皆で体感できたプログラムでした。そして、らっこ組の忍者は それぞれが夢中でなりきっている姿が本当に可愛らしかったのですが、最初 “立派な忍者になるための修行”として、大きな忍者(段ボール製)を手裏剣でやっつけていました。その様子を見ながら『強くなる』ということは 敵を倒す(攻撃する)ことだと思ってほしくないなと思いました。そこで担任の小藺江先生に「助けてあげる(救ってあげる)」パターンも考えてみたら？ と言いました。『守る』ことで人は強くなれる…その心こそ 子ども達に感じてほしいと思ったのです。翌日、小藺江先生は 早速「ぬいぐるみのねこちゃんが 川を渡れないで困っているから 助けてあげて」と ちびっこ忍者達に伝えました。その途端、皆の顔が変わったそうです。今まで以上に張り切って、修行に出発し、途中、ねこちゃん達をそーっと大事に抱っこしながら 川を渡り 助けてあげていたとその様子を後から聞きました。その日は帰るまで「きょうね、ねこちゃんをたすけてあげたんだよ！」と それは嬉しそうに何度も話してくれる子ども達でした。その姿は 自信に満ちて 誇らしげでした。自分達よりも小さなねこちゃん達を 守りながら 危ない川を渡り、救ってあげることができたことが 本当に本当に嬉しかったのでしょう。きっと 大きな忍者も 見事にやっつける事が出来たと思います。

『守ること』こそ、本当の強さです。人は 守るべき存在が在ることで 勇気という強さが生まれます。それは、優しさであり、責任。それは『愛』です。神様が 私達の心に望んでいる ほんとうの強さです。相手を倒す力よりも優れ、尊い強さは『守る』という心の優しさであることを 子ども達もいつも信じ生きてほしいと思います。そのために私自身が どんな時も愛を持ち続ける強さを祈りたいと思います。

『強くあれ。雄々しくあれ。…あなたの神、主があなたと共にいるのだから。(ヨシュア記 1:9)』(石田 記)